

活動 報 告

NPO みなとしほがま ボランティアガイドの会

部会長 鈴木和榮

報告者 高橋幸三郎

1. 活動内容について

(1) 鹽竈神社境内のボランティアガイドの活動

- 平成 19 年 10 月 6 日～ 12 月 16 日の22 回 • 平成 20 年 3 月 22 日～ 9 月 28 日の53 回
合計 75 回

上記の期間の毎週土・日の 10:00 から 12:00 まで、鹽竈神社境内で、参詣客を対象に無料にてボランティアガイドを行ないました。ガイドをするにあたり、当会員を三つの班に分け、常時 4~5 名の会員が参加しました。なお、概算になりますが、1 回につき、延べ 20~40 名程度はガイドをしておりますので、総数は概ね下記人数になります。

当会員ガイド参加者 75 回 × 4.5 名 = 337 名 ガイドをした数 75 回 × 30 名 = 2,250 名

(2) イベントへの参加によるボランティアガイドの実施

- ① 平成 19 年 10 月 18 日・19 日・20 日の 3 日間「しおがまさま 神々の月灯り 宵茶屋 龜井邸」に参加しました。3 日間で約 460 人の方々が龜井邸を訪れましたが、その多くの方々に邸内のご案内し、また塩竈の歴史ガイドを開催し好評を得ました。
- ② 【おいしおがま『秋の食べ歩き』】(11 月 11 日～11 月 25 日の 6 回) に参加し、御釜神社及び七曲り坂入り口～表坂下を中心にガイドしました。
- ③ 平成 20 年 4 月 19 日「しおがまさま 神々の花灯り 龜井邸」に参加しました。

(3) その他のボランティアガイドの活動について(主なものです。)

- ① びゅうトラベル主催の「ガイドと一緒に歩いて巡る 多賀城・塩竈歴史巡り」へ参加しました。平成 19 年 12 月 1 日上記の観光目的で、東京方面から来た方々 23 名を、当会員 10 名が御釜神社・裏坂・神社境内・表坂下など、塩竈分を担当しガイドを行いました。皆様からは、私たちのガイドに対し感謝と満足の言葉を戴きました。



「ガイドと一緒に歩いて巡る多賀城・塩竈歴史巡り」裏坂にて

- ② 12 月 16 日には、当養成講座の卒業生である傳さん(宮城大学事業構想学部大学院生)からの申出により、農協観光主催にて奥松島など東松島市をモニターツアー中の、仙台在住の外国人(学生中心)及びスタッフ計 20 名を、鹽竈神社を中心にガイドをしました。



「外国人モニターへのガイドの様子 農協観光主催・J 塩竈神社にて」

- ③ 平成 20 年 1 月 24 日「おくのほそ道大学と旅・松島」(おくのほそ道松島海道主催)に当会より 4 名が参加し、40 名の方を午前 11 時から約 1 時間、鹽竈神社を中心にガイドしました。

- ④ びゅう「大人の休日俱楽部」の企画で、東京方面からのツアー客(1 回約 30 名)を、御釜神社から鹽竈神社境内まで約 1 時間 30 分にわたりガイドしました。

4/29, 5/1, 5/12, 5/13, 7/1, 7/6, 7/8, 7/16, 9/29 の 9 回(延べ 270 名)

- ⑤ 9 月 18 日午後 1 時から約 3 時間にわたり、「みやぎの熟年仲間交流組織 みやぎエルダーネット」の方々 30 名を、御釜神社～龜井邸～神社～西町のモニュメントと広範になりましたがガイドしました。当会からは 10 名が参加し、高い評価を受けました。

(4) 研修会の実施

- ① 11 月 10 日午後 1 時 30 分より、亀井邸において、当会員 3 名による研修会を開催しました。
 - ・「鹽竈神社周辺 観光ガイド」(基本編) 青木隆夫 氏
 - ・「私のガイドポイント」 菅原金甫 氏 ・「鹽竈神社観光ガイド」 佐藤静夫 氏
- ② 「源氏物語と塩竈」平成 20 年 1 月 31 日午後 1 時 30 分～3 時 30 分 塩釜商工会議所主催
講師 阿部光浩氏(塩竈市役所)
亀井邸での講義の後、表坂下～西町のモニュメントなどの詳しい説明を受けました。当会から
は 15 名が参加しました。
- ③ 「梅をめぐる会」平成 20 年 2 月 16 日午前 10 時～12 時 講師 佐藤静夫氏(当会会員)
当会員のほか約 30 名が参加し、境内の梅についての講義を受けました。
- ④ 「志波彦神社・鹽竈神社について」平成 20 年 6 月 7 日 午前 9 時 30 分～12 時
去年に引き続き、近藤禰宜の指導により「ガイドの心得」「神社の由緒」などを研修しました。ま
た、後半は鹽竈神社学芸員の茂木先生により、神社博物館の展示物の解説をしていただきました。
当会から 15 名が参加しました。
- ⑤ 「鹽竈神社の植物を訪ねて～神社境内はまさに植物園」8 月 23 日 午前 9 時 30 分～12 時
講師 菅原金甫氏(当会会員)

この研修会は、塩竈市の広報に掲載し、一般からも参加を募り、併せて約 30 名で、境内の植物
について、詳しく講義を受けました。あらためて境内の植物類の多さに驚き、神社への誇りを感じ
た研修会でした。一般参加者からも好評で、後日、補足の説明依頼があり、ガイドをしたそうです。

(5) 打合せ会の実施

- ① 主に、毎月末の土曜日午後 1 時から 3 時まで、協働推進室において、打合せ会を開催しました。
常時 12～16 名が集まり、神社境内のガイド活動の月例報告や、活動を通しての反省点などを話合
いました。また、今後の取組みや予定なども通知し、当会のあり方についての協議も行ないました。
ガイドの実践はもちろん大切ですが、それぞれの活動を通しての問題点等を真摯に話し合うこと
で、ガイドとしての自覚や連帯性も養われ、打合せ会の重要性を改めて認識させられました。
- ② 会員からの意見により、打合せ会に何回か塩竈市役所や塩釜商工会議所の関係者の方に同席
していただきました。そして、私たちの活動へのご理解を戴くとともに、今後の D.C.へむけて情報
を共有し、屈託のない意見の交換を行ないました。D.C.については、私たちに対し、ガイドとしての
参加要請を受け、協力を約束し、今後とも連絡を密にしていくこととしました。

※ 打合せ会は、 10/27, 11/10, 11/25, 2/2, 3/1, 3/29, 4/19, 5/31, 6/28, 7/26, 8/30, 9/27 の
計 12 回開催しました。

(6) 広報活動

- ① D.C.にむけてのPR誌(仙台・宮城デスティネーションキャンペーンガイドブック)への記載。
- ② 宮城県のホームページへの登録・記載。
- ③ 塩竈市の広報からの取材及び記載。(12 月号)
- ④ 広報へ会員募集や研修会参加の記載。

※ 広報活動等の効果と思われますが、(3)のガイド依頼については、当事務局への直
接の依頼・申込が多くなりました。

2. 今後の活動について

- (1) D.C「伊達なバス旅」ツアーについては、11/3～12/10 まで計 7 回のツアー企画の中で、神社境内
から御釜神社までのガイド依頼が塩竈市からあり、お受けしております。街の方とも協力しながら、
成功させたいと思っています。
- (2) 「とうほく街道会議 第 4 回交流会 仙台・宮城大会」の 11 月 22 日(土)実施の「街道探訪会」につ
いては、東北各県からの参加者 60 名を多賀城及び松島のボランティアガイドと連携し、芭蕉をキ

- ワードに各地区をガイドします。当会は塩竈のガイドを担当します。
- (3) 新会員の発掘と私たちの研鑽を兼ねた「ボランティアガイド養成講座」を、平成 21 年 1 月～2 月に開講する予定です。

NPO みなとしほがま津太夫・左平顕彰部会

部会長 締 晋

1. パネル展 「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と左平」

日本人の海外渡航が禁止されていた江戸時代に、若宮丸の船員は世にも貴重な体験をしました。彼らが見聞した世界の様子は「環海異聞」に集大成され、ロシア学と世界情報の基本文献となりました。彼らが見てきた世界の一端を 28 枚のパネルで紹介しました。

- ・日 時 平成 20 年 3 月 4 日から 4 月 30 日 午前 9 時から午後 6 時
- ・場 所 マリンゲート塩釜 1 階 ポートギャラリー
- ・入場者数 5,400 人
- ・主 催 NPO 法人 NPO みなとしほがま
- ・協 力 宮城県図書館・東京大学資料編纂所
函館市中央図書館・石巻若宮丸漂流民の会
- ・後 援 塩竈市・塩竈市教育委員会
- ・監 修 平川 新東北大学教授
- ・助 成 日本財団助成事業



「パネル展の様子」
マリンゲート塩釜にて

2. 図録(小冊子)「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と左平」の製作と贈呈

日本人で初めて世界一周した地元浦戸寒風沢出身の津太夫と左平の足跡をわかりやすく解説したカラー版 28 ページの小冊子を作成しました。

未来を担う子供たちにも、幾多の困難を乗り越えた素晴らしい先人たちの史実と功績を伝えるために市内の小中学生と先生方にプレゼントしました。

各学校では、歴史の授業の副読本として活用しております。

- ・発行日 平成 20 年 3 月 1 日
- ・監 修 平川 新東北大学教授
- ・構成・文 斎藤 博(石巻若宮丸漂流民の会理事)
- ・年表提供 大島 幹雄(石巻若宮丸漂流民の会事務局長)
- ・表 紙 引地 洋介
- ・図版・写真 平川 新・本間 英一・締 晋・大和田 庄治
- ・構成・編集 大和田 庄治・締 晋
- ・製作 著作 NPO 法人 NPO みなとしほがま
- ・贈呈冊数 市内小学 5,6 年生、中学 1,2,3 年生と
先生方へ 3,000 冊
- ・贈呈式 平成 20 年 3 月 17 日(月)塩竈市立第一
小学校体育館
- ・助 成 日本財団助成事業



「図録小冊子表紙」



「理事長より、卒業する小学六年生に
小冊子を贈呈」

「第一小学校での贈呈式の様子」

3. 宮城県有形文化財「環海異聞」デジタル図書の製作と贈呈

この図書は、初めて世界一周した日本人である地元、浦戸寒風沢出身の津太夫と左平が仙台藩の蘭学者である大槻玄沢の聞き取り調査によりまとめられた全 16 巻のコピー版である。彼らの苦難に満ちた長期の漂流体験、異国体験の末に持ち帰られた貴重な海外情報は、鎖国時代の日本に伝えた記録として、その後の日本の世界認識の発展に大きく寄与したされております。

NPO みなとしほがまでは、宮城県図書館のご協力を得て「環海異聞」のコピー版を 3 冊製作し、塩竈市民図書館と宮城県図書館に贈呈しました。

この図書により、いつでも市民や子供たちが生の「環海異聞」を手に取り、見ていただくことにより永くこの史実を語り継いでいただければと思います。

- ・ 製作図書 宮城県有形文化財 宮城県図書館蔵
伊達文庫版 「環海異聞」3 冊
- ・ 製作月日 平成 20 年 6 月 19 日
- ・ 製 作 NPO 法人 NPO みなとしほがま
- ・ 贈呈先 塩竈市民図書館、宮城県図書館へ各 1 冊
(1 冊は NPO みなとしほがま 所蔵)
- ・ 贈呈式 平成 20 年 8 月 12 日(火)宮城県図書館
平成 20 年 11 月 27 日(木)塩竈市民図書館



「塩竈市教育委員会小倉教育長・渡辺
教育部長への贈呈」の様子

4. 平成 21 年度津太夫・左平顕彰部会事業計画

- ・ パネル展で製作したカラー版パネル 28 枚を活用した講演会
- ・ 浦戸地区(浦戸ブルーセンター & 浦戸中学校)でのパネル展
- ・ 小冊子の販売
- ・ 「環海異聞」に関するPR(塩竈市民図書館との連携イベント)

NPO みなとしほがま歴史的建造物保存活用部会

部会長 高橋 幸三郎
副部会長 大和田 庄治
亀井邸プロジェクトリーダー 神谷 統

1. 手作りみなとまちフォーラム～みんなで作ろう地域の元気！～を開催

地域の再生やまちの活力増進のため、海、みなとを生かしながら地域住民が主体となるまちづくりを地域と共に考えることを目的として、NPO と塩釜港湾空港整備事務所との共催で開催しました。

初めに主催者を代表して東北地方整備局岡田副局長より、「このフォーラムを通して、市民と共に地域の活性化への理解を深め、みなとまちの更なる発展に繋げていきたい」と挨拶をいただきました。

取組報告として、19 年度に実施した亀井邸を中心として、市内に残る歴史的な文物を生かしたまちづくりに取り組んだ「海商の館・再生プロジェクト」の報告を行いました。また、石巻市、気仙沼市を代表して、石巻千石船の会の逸見会長、風待ち研究会の真山会長から各団体の取組みについて報告をいただきました。引き続き、国土交通省港湾局梅山課長、及びコーディネーターに武藏工業大学高松教授を迎える報告者と共に、「地域が作るみなとまちの元気」と題しパネルディスカッションを開催し、地域や行政との連携について、活動の継続実施の必要性と共に、行政、関係機関、地域住民との繋がりがもっとも重要なことであり、また、行政からの地域活動への積極的な支援の必要性が語られました。

- ・日 時 平成 19 年 11 月 4 日(土) 午後 1:30 から
- ・場 所 ホテルグランドパレス塩釜
- ・主 催 NPO 法人 NPO みなとしほがま・塩釜港湾空港整備事務所
- ・後 援 塩竈市、石巻市、気仙沼市、宮城県、石巻千石船の会、
風待ち研究会
- ・参加人数 約 200 名
- ・取組報告 全国都市再生モデル調査・「海商の館・再生プロジェクト」
(NPO 法人 NPO みなとしほがま)
- 「石巻千石船の会の取組み」(石巻千石船の会)
- 全国都市再生モデル調査・「板倉を生かしたまちづくり」(風待ち研究会)
- ・来賓 伊藤信太郎衆議院議員、佐藤昭塩竈市長



「フォーラムの様子」

2. 法蓮寺向拝観保存活用事業

賛助会員でもある浦霞醸造元(株)佐浦氏と保存活用に向けて協議を重ねてきたところですが、19 年 4 月に(株)佐浦氏の新築社屋の玄関として活用いただくことで協議が整い、材料を譲渡することになりました。再建築にあたっては、古材料を活用していただくこととしましたが、屋根瓦については、江戸時代の瓦と言うことで経年変化により使用に耐えられない瓦もあり、今後の維持管理のため交換をよぎ無くされました。しかし、構造材を含めほぼ当時の材料で再建築することが出来ました。

なお、(株)佐浦氏のご協力により案内板の設置も行うことができ、また、不要となった古瓦について活用を検討し、向拝を訪れた方々に塩竈の歴史に直に触れていただきたいと考え、案内板下に古瓦を敷設しました。なお、デザインについては、塩竈出身者で、東京で活躍する現代造形美術作家平塚ショウさんに協力を依頼したところ、「波と海そして縁起のいい末広がりの八をイメージし、古瓦の当時の息吹を感じて欲しいとの願い。」を込めたコンセプトのデザインとなりました。この保存事業には、(株)佐浦氏をはじめ多くの市民や企業、そして、行政の理解・協力があったればこそ実現できた事業であり、垣根を越えた地域連携の必要性を深く感じつつ、今後の塩竈の歴史を生かしたまちづくりの一助となればと考えています。

- ・ 協力者一覧 会員 14 名、塩釜どうしたいかい 6 名、市民有志・協賛者 9 名



宮大工の手による「再建中の向拝」
上 建物全体
真中上 千鳥破風組立状況



「完成した向拝と案内板」
上 案内板
左 向拝

法蓮寺の向拝

向拝とは、神社仏閣の本堂の正面階段上などにあって、屋根がせり出した部分をいい、ここから参拜者が本尊に向かい礼拝したことからこう呼ばれた。ここ浦霞醸造元醸造の社屋玄関の向拝は、かつて鹽竈神社の別當寺として大きな勢力をほこつた法蓮寺の向拝を移築したものである。

法蓮寺は、鹽竈神社の神宮寺として室町時代に創建され、江戸時代には、仙台藩の新願寺として広壯な伽藍を有していた。当時、裏坂の東の丘には、大日如来を安置する本堂のほか、客殿、書院（勝画樓）、鐘楼などの諸堂がそびえ、裏坂沿いには十二に及ぶ脇院が建ち並んでいた。しかし明治維新的廢仏毀釈によって法蓮寺は廢寺となり、勝画樓を残して諸堂はとり毀され、仏像、仏具、経巻などと共に悉く分散、散逸してしまった。

この時、法蓮寺の向拝は、南宮（多賀城市）の慈雲寺が譲り受け、同寺の本堂玄関として移築されることになった。その後この向拝は本堂とともに存続してきたが、平成十八年に本堂が建て替えられることになり、向拝も一緒に解体、廃棄されることになった。

我々はその歴史的価値に鑑み、これを保存すべく、慈雲寺のご同意を得て、この向拝を譲り受けることにした。そして塩竈市民グループのボランティア支援を受けて、解体された部材を塩竈に移送、保管した。

その後我々は、向拝のよりよい保存活用法を検討し、かつて法蓮寺があつた裏坂を望む本町中心部において多くの人々の目に触れ、江戸時代中期から御神酒屋として鹽竈神社とも関わりが深い佐浦酒造新築社屋の玄関として移築活用するのが最もふさわしいとの結論に至った。そして同社のご賛同とご協力を得て、百三十年余の歳月を超えて、法蓮寺の向拝が再びここ塩竈の地に甦ることになった。

平成二十年十月

NPOみなどしほがま

※ 案内板の表面の内容。なお、裏面には、協力者の芳名を掲載させていただいています。

3. ~榎本武揚没後 100 年記念~大阪市帆船「あこがれ」塩釜港寄港船内一般公開事業

榎本武揚ゆかりの北海道の各地(札幌市、小樽市、函館市)では、没後 100 年を記念した各種事業が実施されました。その事業を記念し、榎本武揚がちょうど 130 年前に新天地として江戸から北海道を目指した、その航跡を大阪市所有の帆船「あこがれ」で辿る記念事業が榎本武揚等の子孫の方々で構成されている開陽丸子孫の会の方々が中心となって行われ、宮城県のゆかりの地である塩竈市、石巻市に寄港し、船内一般公開を実施しました。また見学にこられた市民や観光客の皆さんに、榎本武揚や土方歳三、映画「ラストサムライ」のモデルと言われ、明治初年の塩竈神社表坂のスケッチを描いた、フランス人ジユール・ブリュネ大尉ら幕末の偉人と塩竈の関わりを紹介するリーフレットを作成し、埋もれた当時の歴史の一端の情報発信を行いました。

1. 日 時 平成 20 年 7 月 18 日 午後 1:00 から午後 4:00
2. 場 所 塩釜港西埠頭
3. 来 船 者 約 500 名
4. 主 催 NPO 法人 NPO みなとしほがま、塩竈市
5. 共 催 塩釜商工会議所、仙塩海の月間実行委員会、
塩釜港開発(株)、マリンゲート塩釜事業振興会
6. 後 援 塩竈市教育委員会、塩釜港整備促進期生同盟会、
宮城県



塩釜港西埠頭に停泊中の
「あこがれ」



塩釜港に入港した「あこがれ」の様子



「歓迎式典」の様子



「船内一般公開」の様子

NPO みなとしほがまカルタ制作部会

部会長 阿部 光浩

1. みなとの総合学習の開催

1) みなとの見学会～塩釜児童がみなとの洋上体験～

・目的

みなとの認知度向上のため、塩釜市内の小学生を対象に塩釜港の洋上視察及び港湾施設の見学会を開催

・主 催: 東北地方整備局 塩釜港湾空港整備事務所

・共 催: 塩釜市、NPO 法人 NPO みなとしほがま

・日 時: 平成19年11月13日(火) 8:50～12:10 (5年生)

15日(木) 8:50～12:10 (2年生)

・場 所: 東北ドック、くろしお、巡視船「まつしま」・塩釜魚市場・塩釜仲卸市場

～塩釜海上からの船上見学

・対象小学校: 塩釜市立月見ヶ丘小学校 5年生 81名 2クラス

2年生 92名 3クラス



「小学 5 年生による東北ドック
の見学会」の様子



「小学 2 年生の塩釜魚市場
の見学会」の様子



「船内から港湾施設の説明を
受ける子供たち」の様子